

池田ロータリークラブ週報

2020年12月2日〈3184例会〉 No.3185

国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く
(Rotary Opens Opportunities)

2660 地区のテーマ

BACK, To the FUTURE
(～基本に戻って、未来へ～)

池田ロータリークラブのテーマ

Together Everyone!
(～素晴らしい出会いを求めて～)



ロータリーは機会の扉を開く

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
例会場 池田商工会議所 2F
創立 1954年4月24日
事務局 〒563-0025
大阪府池田市城南 1-1-1
池田商工会議所 2F
TEL (072)752-3355
FAX (072)752-7800
ホームページ: ikeda-rc.com
E-mail アドレス
ikeda-rc@amber.plala.or.jp

2020～2021 年度 R I 会長ボルガー・クナーク RI 第2660 地区ガバナー簡 仁一 ■会長 奥村 勝彦 ■副会長 鶴原 英生
■副会長 吉岡 崇 ■幹事 北林 寛崇 ■副幹事 南 みどり ■親睦委員長 暮部 光昭 ■広報・会報担当 永田 大介

2020-21 年度 会長 奥村 勝彦

先週のガバナー訪問の際には、みなさんの格別のご協力を頂き、おかげさまでいい印象を持ってお帰りになられたことと思います。あらためてお礼申し上げます。ありがとうございました。また翌日の木曜日には、地区の第2回会長幹事会があり、北林さんと出席してまいりました。各クラブから近況報告がありましたが、皆さんそれぞれ工夫をしながらも、例会継続に努力されており、大変勇気づけられました。

さて、11月も半ばになりましたが、今月に入り大阪では都構想に対する住民投票があり、アメリカでは大統領選がありました。どちらも他人事ではなく、また大接戦でしたので、大変関心の高い出来事でありました。都構想では、私は今は大阪市民ではありませんが、戸籍は大阪市内ですので、個人的には大阪が残ってよかったなと思っています。一方アメリカではバイデンさんが勝ったと言われていますが、相手が負けたことを認めないと正式に勝者となれないという面白い民主主義の国です。しかし、今回の大統領選を見ていて、あれだけ国民が自分の国のリーダーを選ぶのに熱狂できることを羨ましく思いました。なにせ2億人近い人が投票し、しかも単純な総得票で決まるのではないゲーム性もあり、第3者である我々もハラハラワクワクして楽しめました。それに対して日本はどうか。日本も最近新しい総理大臣が決まりましたが、国民の選挙も無くすんなりと決まりました。9月頃の新聞記事ですが、京都大学の学長でゴリラ研究の第一人者である山極教授が「霊長類から考えるリーダー像」の中で、日本のリーダーの選び方はチンパンジー型だと言っています。私は数年前、山極先生の講演を聞いたことがあります。この方は若い頃ゴリラ研究のためジャングルで生活していたという人で、実際にゴリラを呼ぶときの声も聞かせてもらいました。その人がなぜ日本のリーダー選びがチンパンジー型というかですが、チンパンジーの世界は集団で生活していますが、オス同士で連合体を作りすなわち派閥をつくりその中の一番強いオスがリーダーとなるからです。まさしく日本の総裁選だということです。事実、日本の政治は派閥や党の力関係で動いていますし、その総裁や党の代表は国民の選挙では決められないのです。だから熱狂できないわけですね。早く日本でも国民が熱狂できるような選挙で選べる時代が来ることを願っています。



開会・点鐘

ロータリーソング

ゲスト&ビジター紹介

出席報告

会長挨拶

幹事報告

委員会報告

ニコニコBOX

本日の卓話

本日の卓話

「クラブフォーラム②」

担当者:

鶴原 英生 副会長

❖ 幹事報告 ❖

幹事 北林 寛崇 会員

(地区より)

①第 2660 地区国際奉仕委員会
NEWS LETTER 第 2 号発刊のお知らせ
(国際奉仕委員長 名村会員)

②2020 米山学友会 (関西) クリスマス会の
お知らせ
(米山奨学会担当吉岡会員、
米山カウンセラー林原会員、米山奨学生張様)

③新型コロナウイルス感染防止についての
お願い
(奥村会長)

④ガバナー公式訪問御礼
(奥村会長、北林幹事)

(池田地区募金会より)

⑤歳末助け合い運動実施に伴う募金の御協力
について
(奥村会長)

⑥池田市地区募金会理事会の開催について
(ご案内)
(奥村会長)

(池田市民安全実行委員会より)

⑦池田市市民安全街頭キャンペーンの中止
について
(奥村会長)

(池田市商工会議所より)

⑧2021 年新年祝賀会開催のご案内
(奥村会長)

❖ ニコニコ BOX ❖

プログラム担当：橋本 昌也 会員
ニコニコ 担当：幸田 伸明 会員

奥村 勝彦会長：皆出席できました。
鶴原 英生会員：張さんの卓話を記念して。
林原みどり会員：張さんの卓話楽しみです。
頑張っ〜！
田村 大輔会員：早退のお詫び。

❖ お客様紹介 ❖

SAA 田中 孝史 会員

東條 暁之 様
池田ローターアクトクラブ 会長



3 好意と友情を深めるか

4 みんなのためになるかどうか

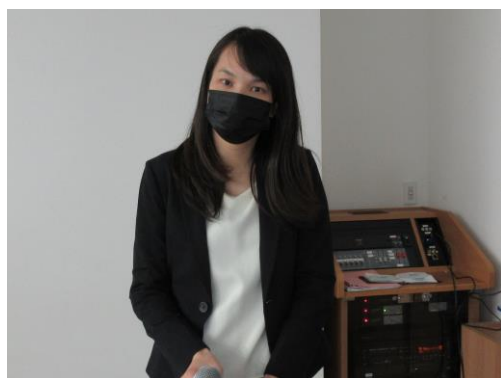
❖ 皆出席のお祝い ❖

奥村 勝彦 会長

入会年月日
H25.11.6



❖ 前回の卓話 ❖



「コロナ後台湾を再発見」 米山奨学生 張 亦瑾

2020 学年度米山奨学生 張亦瑾（立命館大学人間科学研究科博士後期課程）

「台湾はコロナ禍をどう生き抜こうとしているのか」というテーマに対して、多くの議論が取り交わされてい

る。政府によると、「世界最速の水際対策」「学者や医者が内閣の職を任されることが多い」「二〇〇三年のSARS の経験をもとにした法律改定・感染症対策の見直し」といったことがよく議論された。それらに対して、国民はどのように感じたのか。本文は、台湾の一国民として、自分の体験と見解を紹介する。

まず、国民として、コロナ禍期間よく感じたのは、政府と国民とのコミュニケーションが重視されたことである。一月二十三日から六月七日まで、定期的に国民の知る権利に応えるべく記者会見が実施された。毎日午後二時に、誰でも気軽に厚生労働大臣から最新情報を教えてもらえる。感染状況だけではなく、感染拡大防止関連の政策がまとめて説明されており、国民の気持は安定した。また、この記者会見において、記者が提出した質問は全て時間制限なしに答えられるため、正確でありかつ分かりやすい情報が伝えられるようになった。つまり、政府は隠すことなく、誰もがわかるように話したので、国民はみんなが同じ気持ちで闘うことができた。

次に、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、現実的で効果的な政策が実行された。例えば、海外からの入国者は全て二週間の隔離義務が課された。隔離者は一日約 3600 円相当の補償金が支給される一方、隔離義務に反した場合、最高約 360 万円相当の罰金が科せられている。マスク・パニックが発生した後、マスク製造装置を政府が買い上げ、民間企業に生産を委託した。更には、マスクの在庫を見える化し、実名制で予約販売などのシステム構築が行われた。そのため、国民は不便を感じるのと同時に、自分が「国にバカにされていない」「台湾チームにとって不可欠な一員だ」「国に守ってもらえるはずだ」と考えるため、快く政府に協力するようになった。即ち、コロナ禍期間、政府と国民との協力の結果、感染対策は功を奏したと言われた。しかし、台湾の歴史から見ると、これは当然なことではないと考えた。先史及び原住民時代より、台湾には深刻な社会運動と民主化過程が発生した。そのため、現在の社会は国民の多様性が重視され、国民一人ひとりの価値が守られるようになった。

結論として、「台湾はコロナ禍をどう生き抜こうとしているのか」というテーマに対して、民主主義による政

池田RCのテーマ「Together Everyone!～素晴らしい出会い（機会）を求めて～」

府と国民との信頼関係が大切である。それを支えるのは、台湾人が有する「助け合い」という国民性ではないか。

しかし、民主主義は完璧ではないことを強調したい。政治家・政党の指示を過信しすぎず自身の意見を持つことが重要である。国民の多数決によって必ずしも社会問題が解決されるわけではない。民主主義社会にとって、国民の国を守ろうとする決意が不可欠である。今後はコロナ後の台湾について引き続き注目していきたい。

12月のスケジュール

2	水	3184 回例会 クラブフォーラム②
9	水	3185 回例会 年次総会
16	水	休会
21	月	3186 回例会 クリスマス家族例会
23	水	年末休会
30	水	休会（第5週）



ロータリー讃歌

ロータリー 奉仕の精神
ロータリー 誠意と友愛
ロータリー 徳義に立って
世界を 一つに結ぶ
ロータリー ロータリー



ポリオプラス基金

11月11日時点累計	10,708 円
11月18日分	838 円
累計	11,546 円

義捐金BOX

11月11日時点累計	136,043 円
11月18日分	1,214 円
累計	137,257 円

ニコニコ箱の累計

11月18日現在 500,000 円

12月9日（水）例会

「相続のイロハ」

コメント：「相続」が「争族」にならない様に

卓話者：田村 大輔 会員

